

市民活動は  
まちの未来を  
創造する

# パートナー

発行 静岡市清水市民活動センター  
指定管理者 NPOサポート・しみず

〒424-0943 静岡市清水区港町2-1-1  
Tel 054-340-1010 Fax054-351-5530

mail@shimizu-s-center.org  
http://shimizu-s-center.org

## 事業報告

### ● 「記者に聞く！ マスコミとの付き合い方」講座開催



受講するみなさんの表情も真剣です

この講座は市民団体への「参加してみたい講座」アンケートで人気No.1でした。そのためか、9月7日当日は定員を上回る参加がありました。

講師は、静岡新聞清水支局長 森下俊一さん。新聞記者の日常から取材依頼のコツなど、飾りのないトークに、参加した方たちは熱心に耳を傾けていました。

今回はシミズ毎日やイノセントといった地域情報誌の記者にも参加していただきました。講座終了後のグループ

に分かれての交流会では、それぞれの記者を囲んで率直な質問が飛び交いました。名刺交換もあり大変にぎやかでした。都合で参加できなかったベypress誌からも資料を提供して頂きました。

参加者アンケートからも、「マスコミへの情報発信のコツが聞けて良かった」「新聞社の後援の取り方など参考になった」と好評でした。

### ● 第1回利用団体連絡会議を開催

指定管理者がNPOサポート・しみずに代わり、初めての利用団体連絡会議を9月3日、35団体の参加で開催しました。

指定管理者の挨拶やスタッフ紹介、各参加団体の自己紹介、今年度事業の説明の後、センターへの要望について、4グループに分かれてワークショップを行い、各グループから発表していただきました。



ワークショップ風景

施設面では駐車場や、カラー印刷機の導入などについての要望があり、事業についてはアンケート調査に比べ、具体的な意見が多く出され、大変参考になりました。また、「多くの団体が協力して参加できるイベントの企画」など交流事業への要望も多くありました。運営については、「活動・広報の企画について相談に乗ってほしい」「指定管理者が代わった“カラー”を打ち出してほしい」などの意見が寄せられました。

「要望」を出していただくワークショップでしたが、「土・日が利用できてありがたい」「印刷利用しているが、スタッフも親切でありがたい」などの嬉しい声も聴くことができました。また、「他の団体の活動を知ることができてよかった」という感想も複数ありました。

出されたご意見は、「即対応できるもの」「今後の事業に反映させていくもの」「施設面などで市に要望を伝えるもの」に分け、検討していきます。個々の対応については、利用団体の皆さんに順次報告していきます。今後のセンター運営についての課題や、事業計画への指針がより明確になり、参加して下さったみなさまに感謝いたします。

例年ない暑さの中、8月9月は多くの事業を実施しました。8月21日の「おやこで作るバンブークラフト」では地球温暖化防止を考える会に指導をお願いし、8月25日の「しみず缶詰ストーリー」では、フェルケール博物館にご協力いただくなど、各所から応援がありました。

## リレートーク 港の風 - 15 -

長く市民活動を続けているみなさんをトークでつないでいきます。今回は、「子育て支援どろん子」の石野欽二さんに直接お話をうかがい、編集して掲載させていただきました。

### ● 子どもたちの笑顔に元気をもらって

特定非営利活動法人「子育て支援どろん子」 理事長 石野欽二

私が子育て支援の活動に本格的に取り組み始めたのは、平成11年学童保育の設置に関わったのがきっかけでした。

蒲原は、東西に長い地形です。東部に1か所しかなかった学童保育を西部にも増やしたいと願う保護者たちと町に働きかけ、翌年公設公営の児童クラブが出来ました。残念なことに、それは保育時間が短いなど、利用者のニーズには応えできていませんでした。柔軟な対応をするために、私たちは民営化の道を選び、次の1年間は法人格の取得に奔走しました。学童保育の目的や実務についての研修、スタッフの確保育成、定款の作成と、大変な時期も、複数の核になるメンバーと多くの賛同者、民間の力を社会に生かしたいという行政の理解で乗り切ることができました。

以降「子育て支援どろん子」はNPO法人として学童保育の運営を担っていますが、地域で子どもを育成するにはより多くの団体とつながっていくことが必要です。私は、法人化以前から社会貢献団体が集まって情報交換をすることで、より良い子育ての環境が出来ることも提唱してきました。静岡市との合併を機に、「かんばらNPOネットワーク」としてさらにその輪が広がりました。蒲原の良さを残したいという意識と、他の良い所は吸収しようという前向きな気持ちの現われでもあり、心強く感じています。

しかし、群れて自然に遊んでいた子どもたちが減り、ひとり遊びの子が増えている現状は、とても気になります。戸外で一緒に遊ぶ機会を作っても、喜んで参加する子どもと、遊べない子どもがいます。いろいろ体験させたい親と、危険や汚れをまず心配する親と、両極化が進んでおり、その気持ちが子どもたちの行動に反映しているように思えます。個人優先の考え方が多い世の中ですが、私の周りでいきいきと遊ぶ子どもたちの笑顔を糧に、彼らの居場所をもっともっと増やしてけるよう、これからも頑張ります。

平成22年、子育て支援どろん子は、新たに蒲原子育て支援センターの指定管理を受託することになりました。ここは未就園の親子が一緒に遊び、情報交換をする場ですが、小学生が放課後、他校や異年齢とふれあひながら仲間づくりができるようサポートもします。蒲原の3番目の支援施設のスタートです。ここに通ってくる若いお母さんたちがまちの将来をどう考えていってくれるのが、期待をしながら見守っています。そして今まで活動を支えてくれている多くの仲間とともに、「どろん子」を築立ってやがて戻ってくる次の世代を心待ちにしているところです。



小学生も利用できる蒲原子育て支援センター



石野欽二さん

## 地域メディアとの協働

エフエムしみず

「しみず市民活動センター情報」

76.3MHz 毎週火曜日 9時10分～10分間

清水市民活動センターはパーソナリティとゲストをコーディネートし、情報を提供する役割を果たしています。情報発信の場として、ぜひご利用ください。

- 10月5日 四季を歌う会  
会の紹介と10月16日に開催される秋のドリームプラザコンサートのお知らせ
- 10月12日 ぶんかさろん・しみず  
10月23日開催の公開講座と11月の秋の探訪会のお知らせ
- 10月19日 市民活動企画グループ 楽結  
10月22日開催の講座についてのお知らせと今後の事業のご案内
- 10月26日 海辺工房ひとで  
11月から開催される「海の生きもの会議」のお知らせ

## 市民活動見てある記

いろいろな市民活動におじゃまして、ちょっと見せていただくという企画です。

● **第5回 すんぷ☆エコアクション** 主催 すんぷ☆エコアクション実行委員会  
(社)日本海洋少年連盟 清水少年団・沼津少年団

あまりにも日常化してしまったゴミ問題。清掃だけでなく、分類調査まで行いながら効率的・効果的な政策の提言や、環境美化につなげようと、学生たちの呼びかけで始まったこの事業。今年で5回目を迎えました。

残暑の厳しい中、9月4日を皮切りに、18日までの期間、静岡市内各所で清掃活動が行われました。

川で… 9月4日 興津川河口



まちで… 9月11日 青葉シンボルロード



山で… 日本平



海で… 三保真崎海岸



市民が主役のこの事業、参加費も事前申し込みも不要とあって、気軽に参加できるものの、人数の把握も難しい。

実行委員会の頑張りや、企業やまちの人たちが協力して、思い思いのスタイルで、13カ所の清掃活動が実現しました。河川工事の会社が参加を呼び掛けたり、里山の会が草刈りをしたり、1000人近い参加で大規模に、人数は少なくとも環境問題を語りながらの参加、そして大人も子どもも、自分流に静岡のまちをきれいにしました。

今後は、集めたゴミの分析をし、そのデータをもとに学識経験者や市民団体と話し合っ環境改善についての資料を作成して行政に提言していきます。

※この事業は、日本財団の助成対象であるとともに、行政や多くのマスコミ、事業所の協賛、後援を受けています。



実行委員長、東海大学3年生の小平明寛さん

静岡大学と東海大学の環境サークルが呼び掛け、多くの事業所、自治会、市民団体がこのイベントに参加しました。

5回目とはいえ、メンバーは夏休みを返上して連絡をとったり、チラシを配布したりと準備に追われました。第1回の2000人を上回る参加を目指していますが、どうやら目標はクリアしそうです。清掃活動が終わっても報告書が出来上がるまで、まだまだ作業はあります。就職活動もスタートし、忙しい日が続くそう…。

(…集まったゴミをリヤカーで運ぶのも慣れたものですね)

## 清水市民活動センター利用状況と休館日

8月の利用者は698人でした。10月の休館日は、6日・20日です。

# 清水市民活動センター4周年事業において下さい!

## ● 10月は4周年事業月間

10月1日～10月31日

団体の活動を紹介するパネルを展示します。  
あわせて、A4サイズの団体ごとのカタログを展示しています。

9月15日～11月15日

清水市民活動センターと市民団体の共催事業を開催します。

また、各地で4周年事業に協賛して市民団体のイベントが開催されます。

※詳しくはチラシをご覧ください。

## ● 今年はここが違う!

市民活動FESTA2010 を開催します。

と き：10月23日(土) 13:30～

と ころ：清水市民活動センターフロア

☆市民団体がそれぞれブースを出展して自分たちの活動をPRします。

☆参加する方はブースをめぐり、スタンプラリーを楽しみながら市民活動に触れてください。

☆寄付イベントをします。

応援したい団体がみつかったら、寄付チケットを買って団体のボックスに入れて下さい。

## ● グラウンドワーク三島 インターンシップ生受け入れ

8月から10月にかけて、内閣府「地域社会雇用創造事業」で、特定非営利活動法人グラウンドワーク三島がNPOや地域協働事業に関わる人材育成「1期グラウンドワーク・インターンシップ」を実施しています。

清水市民活動センターではこの実務研修で、他県の市民活動センターのスタッフなど4名の研修生を受け入れました。

センターでのレクチャーや日常業務、講座の運営などと併せて、かんばらNPOネットワークの活動を見学する日も設けました。NPOと地域団体の連携の様子などをうかがい、旧五十嵐邸などNPO法人が運営している施設の見学も行いました。



旧五十嵐邸で説明を聞く

## 静岡市市民生活課のコーナー

### 出前講座「市民活動のすすめ」のススメ

皆さまは、「市政ふれあい講座」をご存じですか？「市政ふれあい講座」は、市政の理解や職員との交流のために、市職員が外向いて、業務についての情報提供や解説を行う出前講座です。今年度は、全部で94講座が用意されています。

市民生活課でも、「市民活動のすすめ」というテーマで出前講座を実施しています。

今まで受講されたのは、市民活動をこれから始める方、NPO法人化を考えている任意団体、市政

について勉強したい大学生、などそれぞれです。市内在住か在学・在勤で、10名以上の参加を見込める団体であれば申し込みができます。

内容は、ボランティアとNPOとの違い、非営利とはなにか、協働とはなにか…など、市民活動をする上で知っておきたい初歩的な部分が主ですが、団体のご要望に応じます。

詳しくは以下の電話かメールまで、お気軽にお問い合わせ下さい。ご利用をお待ちしています。

#### お問い合わせ

静岡市市民生活課 総務担当

TEL.054-221-1265

E-mail:seikatsu@city.shizuoka.lg.jp

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/jinjika/jinji-fureai-index.htm>